

## 中国の図書館&書店見てある記(1)

少し前の話になりますが、昨年末から今年の初めにかけて中国を訪問する機会がありました。訪問地は杭州と上海です。少し時間の余裕があったので、図書館と書店を覗いてみる事にしました。訪れたのは公共図書館である浙江図書館と上海図書館、そして杭州の新華書店の3カ所です。本学図書館とは直接関係ありませんが、趣向を変えて中国の本にまつわる話をさせていただく事にします。

杭州の空港に降り立ったのは昨年末でした。前回訪れた際にはこの空港はありませんでしたので、相当な年月が経っている事になります。予想通り、杭州の街中は以前とは全く異なっていて、ここは上海かと思うほどに様変わりしていました。杭州でこれですから、上海は、... 中国の急成長ぶりを、改めて実感した次第です。

さて、ここでは図書館と書店の詳細なレポートをするというのではなくて、各施設を回って気が付いた事を、思いつくまま記してみたいと思います。では、まず図書館から。

訪れた図書館は、共にとても立派な建物でした。館内に入ってまず私が探したのは検索コーナーでした。利用者は膨大な資料に、どのようにしてアクセスするのか興味があったからです。予想通りコンピュータがズラリと並べられていて、利用者はそれを使って目的の資料を探していました。浙江図書館ではカード目録も見付けましたが、使っている人は見掛けませんでした。そう言えば、買い物の際に立ち寄った市場の中で、ノートパソコンに見入っている店員を何回となく見ました。どうやら株価のグラフを見ていたようで、ここにもコンピュータが浸透しているのかと驚きました。コンピュータと言えば、浙江図書館には有料ネット端末が備えられていて、1時間1円で利用出来るようになっていました。

次に閲覧室に目を向けてみましょう。我々が公共図書館の閲覧室と言えば、広い室内に固定書架が並んでいるというのが一般的ではないでしょうか。しかし私が回った二つの図書館では大きく異なっていました。その違いは〇〇閲覧室という名の閲覧室が沢山設けられているという点です。例えば浙江図書館の場合、「中文文学図書借閱室」とか「中文自科図書借閱室」（編集の都合上、簡体字は日本の漢字に置き換えています。）といった具合に、分野別に閲覧室が設けられているのです。ですから、幾つかの分野を調べたい時には不便ではないだろうかと思ってしまいました。しかもそれぞれの閲覧室の開館時間が微妙に異なっているのですから、話は更にややこしくなります。詳しくはホームページのアドレスを載せておきますので、興味のある方はチェックしてみてください。なお、接続しにくい場合がありますので、予めご了承下さい。

浙江図書館：<http://www.zjlib.net.cn/default.asp/>

上海図書館：<http://www.library.sh.cn/>

話は変わりますが、この号が手元に届く頃にはもうすぐ夏休みですね。自分の思い通りに長期間の休みを過ごせるのは学生の特権です。是非、充実した日々を過ごして下さい。図書館は日曜日とお盆の期間を除いて開館しています。8月と9月では開館時間が異なりますので、ご注意下さい。では、ご利用をお待ちしています。

ふじい たつや（司書・係長・アジア関係図書館）